

妹背牛の夏は、頭文字に「遊」が付く観光スポットとイベントが楽しめます。新型コロナウイルス流行前のにぎわいを取り戻しつつある今、夏の風物詩とも言える2つの「遊」をご紹介します。

滑って・泳いで・潜って

観光スポット ウォータースライダー

遊 水公園うららにある全長16mのウォータースライダーは8月までの2カ月間、無料で遊べるとあって、町内の子どもたちや近隣市町の家族連れが水しぶきを上げています。



水しぶき、気持ちいい！



お父さんの水鉄砲、冷たい

水に親しむ学習の場に

妹背牛小学校の2年生は7月8日、まちを探検する生活科の授業の一環で遊水公園うららを訪れ、元気いっぱい水遊びを楽しみました。

水着になった子どもたちは早速、ウォータースライダーのてっぺんへ。勢いよく滑って水に慣れる練習をしたり、水辺の生き物を見つけたりして、楽しく学びを深めました。



遊びながら泳ぎの練習



何回滑っても楽しいね



カエルさん、みつけ！



遊歩市

遊歩市は、妹背牛町の中心部に軒を連ねる露店が縁日の雰囲気盛り上げます。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった今年は、道内各地からクラシックカーやスポーツカーが集まり、車好きの目を楽しませました。また、飲食が楽しめるブースや射的のコーナーも人気で、訪れた人たちは夏の楽しいひとときを過ごしました。



モー突進レポート

SHOW TIME 翔たいむ

今回の翔たいむは、遊歩市でベトナム料理を販売した地域おこし協力隊コーナーの舞台裏をご紹介します。

保健センターで調理したのは、150人分の揚げ春巻きと鶏肉のサラダ。僕は、料理の下準備や揚げたての春巻きをイベント会場へ運搬する係を担当しました。

うれしいことに販売開始から注文が相次ぎ、段ボール1箱分ずつ用意した揚げ春巻きはあっという間に品切れに。揚げたてを食べてもらおうと、車での往復を繰り返しましたが、お客さんを待たせてしまったことは次回への反省点です。